

## 一般法人化を検討中の法人の特色

- (1) 共益事業のウエイトが高い法人(同窓会、共済事業など)
- (2) 収益事業のウエイトが高い法人(貸館、駐車場、検定など)
- (3) 同業者団体
- (4) 内部留保が大きく、公益法人へ移行後の取消しが心配な法人
- (5) 技術的能力の保有に疑問がある法人(業務の委託が多い)
- (6) 役員を親族で固めたい法人(但し税法上の非営利型を選択する場合、理事の親族規制あり)
- (7) 公益目的事業を実施しているがそのウエイトが低い法人
- (8) 公益目的事業を実施しているが利益が出ている法人
- (9) 経理上の問題がある法人(会計処理と会計専門家の関与)
- (10) 収益事業の利益が大きい法人(50%繰入で公益目的事業が黒字になる)
- (11) 社員の資格を限定する必要がある法人
- (12) 受益の機会、対象を限定したい法人
- (13) 助成・表彰事業・行政からの事業受託等がなく信用、ステイタスに拘る必要がない法人